

第47回全国学校体育研究大会岩手大会

開催要項

1 趣旨

我が国においては、社会環境や生活様式の変化などにより、運動の機会の減少や生活習慣の乱れが生じてきており、子どもたちの体力低下や健康問題が懸念されている。また、子どもの頃から、体を動かした遊びや運動を好んでする者と体を動かすことをあまり好まない者との二極化が進んでいるとの指摘がある。さらに、子どもたち同士が群れて遊んだり運動したりする機会や環境も年々減少してきている。

このような状況の中、子どもたちの体力向上や精神的ストレスの発散、生活習慣病予防など、心身両面にわたる健康の保持増進に資するために、生涯にわたり豊かなスポーツライフを送ることは大変意義のあることである。

文部科学省においては、スポーツ振興基本計画や新学習指導要領を示して、子どもたちが運動に親しむ資質や能力を身に付け、生涯にわたる豊かなスポーツライフ及び健康増進の基礎を培うとともに、体力・運動能力が向上し、学校体育のさらなる充実が図られるよう様々な取り組みをしている。

本研究大会では、このような我が国の子どもたちの課題を少しでも解決し、生涯にわたって豊かなスポーツライフが実現できるよう、各都道府県や体育・スポーツ関係者等と連携し研究を進めている。

岩手県では、『生涯スポーツの基礎を培う、確かな力を育てる授業の創造』を研究主題に設定し研究を推進してきた。「子どもは授業で育つ」を基本姿勢に、「わかる」と「できる」の結びつきを大切にしたい授業を目指すとともに、そのために必要な基礎基本の学習を大切に、課題の解決に向けた学習に取り組む力を育成し、あわせて体力の向上を図る授業実践を積み上げてきた。本大会において、このような研究実践を踏まえ、「すべての子どもに、体育・スポーツの真の楽しさを保証し、確かな運動技能を身に付けさせる学習指導」の在り方について、研究発表と公開授業により提案し研究協議を行うものである。

2 研究主題

「いきる、わかる、できる」

生涯スポーツの基礎を培う、確かな力を育てる授業の創造

- 3 主催 文部科学省 財団法人日本学校体育研究連合会
共催 岩手県教育委員会 岩手県市町村教育委員会協議会
岩手県学校体育研究協議会

- 4 主管 第47回全国学校体育研究大会岩手大会実行委員会

- 5 期日 平成20年10月30日（木）・31日（金）

6 会場

- (1) 第1日 岩手県民会館（盛岡市内丸13-1 TEL 019-624-1171）
(2) 第2日 岩手県内11会場